

平成 26 年度 東日本地域高等専門学校技術職員 特別研修会(電気・電子系) 参加報告

技術第 2 班 遠藤 健太郎

1. 目的

本研修会は機構の実施要領に基づき、高等専門学校の技術職員(学科、教室、教育研究センター、実習工場及び練習船等における教育・研究の技術支援等に従事する職員)に対して、その職務の遂行に必要な高度で専門的な知識を修得させ、技術職員の資質の向上を図ることを目的としている。なお、本研修会の受講者は 21 名(参加校 17 校で福井高専が主幹校)であった。

2. 期間

平成 26 年 8 月 20 日(水)~8 月 22 日(金)

3. 会場

長岡技術科学大学

4. 日程

<1 日目>

9:30-9:40 開講式

9:40-11:00 講義 I

「電力変換の応用」

講師：近藤 正示 教授

11:10-12:30 講義 II

「光波工学の基礎と偏光伝搬」

講師：小野 浩司 教授

13:30-13:50 記念写真撮影

13:50-15:50 講義 III

「電子の発見から

半導体集積回路への道」

講師：内富 直隆 教授

16:00-18:00 講義 IV

「プラズマの応用について」

講師：原田 信弘 教授

<2 日目>

9:00-12:30 「研究開発技術等の

発表及び討議」

※発表 8 分、質疑 2 分

13:30-17:30 「研究開発技術等の

発表及び討議」

(午前中の続き)

「全体討議及び総評」

<3 日目>

9:00-12:00 長岡技術科学大学施設見学

①モーションコントロール研究室

(大石 潔研究室)

②ナノ・マイクロシステム工学研究室

(河合 晃研究室)

③液晶ディスプレイ研究室

(木村 宗弘研究室)

④極限エネルギー密度工学センター

(末松 久幸研究室)

13:00- 閉講式

5. 研修会に参加して

1 日目の各講義においては、学生以来となる長時間の拝聴であったが、基礎の再習得から応用まで学ぶ事ができ非常に有意義であった。講義には学生指導にも活かせる内容が多々有り、活用できるよう努めたい。

2 日目の発表及び討議においては、研究、教材製作、地域貢献等、様々な他高専職員の取り組みを傾聴でき、今後の自身の取り組みへの参考となった。また、中には奨励研究テーマで発表する職員も見受けられ、良い刺激となり、より一層の自己研鑽の必要性を感じた。

3 日目の施設見学においては、最先端の研究・技術、設備を見学し、知見を広げられたと共に進学希望の学生に対して大学での研究紹介等にも活かせればと考えている。